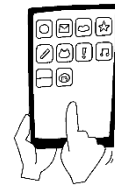


GIGA 学習開き (おうちの方へ)



<川和東小 GIGA宣言>

わたしたちは、iPad を使うときに次のことを守ります。

- 学びを深め、活動を豊かにするために使います。
- 人がいやがることや、傷付けることはしません。

「教えてもらう」から「自分で学びとる」授業へ変わる

そもそも何のための iPad 貸与なのでしょうか…

これからの学習は、子どもたちが「習う」ものから、子どもたち自身で「学びとる」ものへと変わっていきます。自分から調べたり、記録したり、意見を出し合ったりする道具として積極的に活用していきます。つまり、子どもたちが、自分から「学びとる」日常的なツール(文具)として活用するためのものです。

おねがい

○使用について

iPad はあくまでも学習用です。学校での学習、また持ち帰りができるようになったら家庭学習で使います。

○破損・紛失について

学校では、故障がないか定期的に点検をします。破損したり紛失したりした時は、修理サービスがあります。校内の他の学習用具と同じ扱いです。

○持ち帰りについて

横浜市では、今は iPad を持ち帰りません。しかし、今後は、緊急時などに持ち帰り、家庭学習に使用することも想定されています。

○同意書について

クラウドサービス等での、個人情報の取扱いについて同意書をいただきました。卒業時まで学校で保管いたします。

○返却について

学年が上がるときには、そのまま iPad を持ち上げます。卒業まで、同じ iPad を使います。転出・卒業時には、学校に返却し、その端末を次に入学する子どもたちが使います。

○インターネット利用について

フィルタリングを行っています。閲覧履歴は取り消しできない設定になっています。使用状況は、学校でも点検いたします。

横浜市から借りる iPad は、これからの子どもたちの学びに、とても有効なものです。

正しく使えるよう、お家でも話し合ってみてください。



これからの一日の様子（学年の発達段階に合わせていきます。）

場面	動き・使い方	ポイント
登校後	保管庫から取り出し、つくえに持っていきます。 使わない時は、つくえの中に入れておきます。	大事に運びます。
朝の会	ロイロ、あるいは Google class room を開きます。	先生からの連絡があるかたしかめます。
授業 (教室)	つくえの中に置いておきます。 特に高学年では「調べて当たり前」「しりょうを見て当たり前」「自分の考えを書いて当たり前」「グループでいっしょに編集して当たり前」になります。つくえの中がいっぱいで入らなくならないよう、使わない教科書を教室の決まった場所に置きます。	つくえから落ちないように、気をつけます。
休み 時間	iPad は、あくまでも学習用具です。 「iPad の使い方」「情報モラル」を守ります。 休み時間は、教師に言ってから使います。	
授業 (特別 教室)	教室を移動するときは、手さげ袋に入れて運びます。 体育館ではステージの上に置きます。 外体育ではカゴに入れておきます。	
委員会 クラブ など	先生と相談して、必要な時は委員会やクラブに持って行きます。 下校するときには、教室の保管庫に必ずもどします。	Classroom を作って、メンバーや先生との連絡に使います。
下校時	必ず保管庫へ 使う機会がふえるほど、保管庫にしまうのをわすれやすくなります。 全部そろって、充電されているかたしかめます。	毎日かならず決まった場所にしまいます。